

参考・引用文献

- Begley, C (2003) . 'I cried... I had to...': student midwives' experiences of stillbirth, miscarriage and neonatal death. *Evidence Based Midwifery*, 1, 20-26.
- 千秋清美, 磯村ゆき子, 黒川洋子 (2006). 妊娠 19 週での流産を体験した母親との関わりを通して死産のケアを考える. *日本看護学会論文集母性看護*, 37, 149-151.
- Fenwick J., Jennings B., Downie J., Butt J. & Okanaga M. (2007) . Providing perinatal loss care: Satisfying and dissatisfying aspects for midwives. *Woman and Birth*, 20 (4) , 153-160.
- 福田紀子 (2002). 特集 死産・流産のケア 援助者である助産師・看護師をケアする大切さ. *助産婦雑誌*, 56 (9), (741) 41- (745) 45.
- 橋本洋子 (2003). *NICU ところのケア 家族のケアに寄り添って*. メディカ出版.
- 井部俊子編 (2011). *看護管理学習テキスト 第 2 版 看護管理概説第 1 巻*. 日本看護協会出版会.
- 池田智子 (2006). 新人看護師の成長にかかわる要因 がん患者とのかかわりにおける主観的成功体験のインタビューから. *神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録*, 31, 142-149.
- 稲野辺奈緒子, 塚本佐津紀, 島村光重, 小川恵子, 鶴沢淳子, 加藤美智子 (2009). 新人看護師が看護基礎教育に求めるターミナルケアのあり方—新人看護師へのインタビューを通しての実態調査—. *帝京平成看護短期大学紀要*, 19, 63-67.
- 石井由美子 (2007). 新卒看護師の看取りの体験から現任教育を考える. *神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究収録*, 32, 161-167.
- 石川福江, 大塚香, 野中淳子 (2013). 小児がん看護に携わる看護師のメンタルケア. *小児看護*, 36 (8), 1152-1156.
- 磯村ゆき子, 黒川洋子 (2007). 死産を経験した母親が必要としているケア—死産マニュアルに沿った看護を实践して—. *日本看護学会論文集母性看護*, 38, 89-91.
- 垣本尚美, 浜崎美和, 伊南友里子, 瀧島章子, 堀孔美恵, 増渕孝子 (2005). ターミナルケアにおける看護師の姿勢と心理的動向—葛藤・コーピングの現状を知る—. *日本看護学会論文集看護総合*, 36, 247-249.
- 各務真紀, 丸山哲夫, 吉村泰典 (2012). 不育症におけるストレスとメンタルヘルスケア.

HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY, 19 (1), 57-61.

春日真希, 宇留野知美 (2008). 患者の死を体験した看護師の感情—血液疾患患者の看護を通して—. 日本看護学会論文集看護総合, 39, 386-388.

Kavanaugh K. & Paton B. J. (2001). Perinatal Loss. ILLNESS, CRISIS & LOSS, 9 (4), 369-380.

勝又里織, 松岡恵, 三隈順子, 清水清美 (2004). 人工妊娠中絶を受ける女性に対する看護者のケア体験と看護観の分析. 日本女性心身医学会雑誌, 10 (2), 85-93.

川崎祥子, 渡邊沙季, 中山サツキ (2008). 早期新生児死亡時のグリーフケアに携わる NICU 看護師の思い. 滋賀母性衛生学会誌, 8, 73-76.

Kent B., Anderson N. E. & Owens R. G. (2012). Nurses' early experiences with patient death: The results of an on-line survey of Registered Nurses in New Zealand. International Journal of Nursing Studies, 49 (10), 1255-1265.

木地谷祐子, 蛸崎奈津子, 石井トク (2007). 死産, 早期新生児死亡を体験した母親の語りからみる助産師の役割. 日本看護学会論文集母性看護, 38, 92-94.

菊池恵子, 蛸崎奈津子, 石井トク (2006). 死産を体験した母親が児と面会することの意味. 日本看護学会論文集母性看護, 37, 155-157.

厚生労働省 (2004). 2004 年「新卒看護職員の早期離職等実態調査」結果 (速報) (抜粋) 社団法人日本看護協会. <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/05/s0512-2d10.html> [2014-06-26]

厚生労働省. 人口動態調査 用語の解説. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1b.html> [2014-07-01]

厚生労働省 (2011). 平成 22 年 (2010) 人口動態統計 (確定数) の概況 人口動態統計年報 主要統計表 (最新データ、年次推移) 死亡 第 5 表 死亡の場所別に見た死亡数・構成割合の年次推移.

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii10/dl/s03.pdf> [2014-06-26]

厚生労働省 (2014). 平成 24 年人口動態統計月報年計 (概数) の概況. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai12/dl/gaikyou24.pdf> [2014-06-26]

厚生労働省大臣官房統計情報部編 (2014). 平成 26 年我が国の人口動態—平成 24 年までの動向—. 厚生労働省大臣官房統計情報部.

久保善子 (2012). 産業看護を支える基礎概念ーベナー看護理論 臨床技能習得の段階に関する理論. 産業看護, 4 (4), 2-7.

McKenna L. & Rolls C. (2011) . Undergraduate midwifery students' first experiences with stillbirth and neonatal death. Contemporary Nurse, 38 (1-2) , 76-83.

目時まゆみ (2005). 新人看護師が体験する死後の処置の意味 看取りの看護における新人教育への示唆. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究収録, 30, 198-205.

森田純子, 山崎利枝, 佐竹みゆき, 高橋悦子 (2003). 一般病院におけるグリーフケアの探索ー看護師アンケートから見る家族への予期悲嘆への援助ー. 日本看護学会論文集成 人看護Ⅱ, 34, 90-92.

Mitchell, M. (2005) . Preparing student midwives to care for bereaved parents. Nurse Education in Practice, 5, 78-83.

宮崎亮一郎 (2007). 母体保護法 (診療の基本, 研修コーナー). 日本産科婦人科学会雑誌, 59 (3), N-19.

小原恵, 寛川雅子, 国文真樹子 (2005). 癌ターミナル患者との関わりー看護師が抱く否定的感情とその対処方法を通してー. 日本看護学会論文集看護総合, 36, 161-163.

長田美砂, 渡邊美奈子, 加来かおり, 金澤真理子, 亀山恵子, 斎藤祥子, 八重樫花子, 宇田真己, 瀬尾道子, 西村理恵子 (2005). 看護師のグリーフケアー患者の死別喪失体験を通して考えるー. 日本看護学会論文集精神看護, 36, 246-248.

岡永真由美, 岡村仁 (2014). 助産師の周産期の喪失ケア体験に基づいた卒後教育プログラムにおけるニーズの検討. 母性衛生, 54 (4), 556-562.

中山サツキ, 玉里八重子 (2007). 死産を体験した母親を援助する助産師の戸惑いの一事例. 滋賀母性衛生学会誌, 7, 61-64.

中山サツキ, 玉里八重子 (2008). 死産を体験した母親を援助する助産師の思い. 滋賀母性衛生学会誌, 8, 62-66.

中山サツキ, 岡山久代, 玉里八重子 (2014). 死産を体験した母親を援助する助産師の感情. 母性衛生, 55 (2), 462-470.

野口絵美, 加納尚美 (2005). 死産を経験した産婦をケアする助産師の心理. 茨城県母性衛生学会誌, 25, 35-42.

パトリシア・ベナー (2005), 井部俊子 (監訳). ベナー看護論新訳版 初心者から達人へ.

医学書院.

関和男 (2009). 亡くなっていく赤ちゃん和家人のケア. 近畿新生児研究会会誌, 18, 54-61.

Shimoinaba K., O'Connor M., Lee S. & Greaves J. (2009). Staff grief and support systems for Japanese health care professionals working in palliative care. Palliative and Supportive Care, 7 (2), 245-252.

白土佳津子, 森本紀巳子 (2010). 胎児および児の死に関わる助産師の思い. 日本看護学会論文集母性看護, 41, 142-145.

Stayr, L. C. (2007). Nurses' experiences of caring for families with relatives in intensive care units. Journal of Advanced Nursing, 57 (6), 623-630.

鈴木宏明, 手塚範子, 中川智由希, 難波日香梨, 山内香織, 松原麻美 (2009). 患者の死が看護師に与える影響. 近畿高等看護専門学校紀要, 9, 100-104.

鈴木清花, 岩下麻美, 舩田静恵, 宮里綾乃, 増永啓子, 河野鈴子, 長田久夫 (2008). 誕生死にかかわる看護職の感情に関する研究. 母性衛生, 49 (1), 74-83.

竹ノ上ケイ子, 佐藤珠美, 松山敏剛 (2000). 自然流産後の女性の心理 (1) 流産直後, 3 ヶ月後, 6 ヶ月後の変化. 日本助産学会誌, 13 (2), 20-34.

内田慶子 (2009). NICU 看護師の看取りへの思い. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究収録, 34, 247-253.

内海由樹, 鈴木聡美, 礪山あけみ (2011). 死産・胎児異常を辿る母親と向き合う助産師の体験—心の葛藤とその対処方法—. 茨城県母性衛生学会誌, 29, 6-11.

米田昌代, 田淵紀子, 坂井明美 (2008). 周産期の死のケアに関する看護者の知識とケア環境の実態. 石川看護雑誌, 5, 11-20.